

## 第2 試験検査

## 1 生活衛生に関する試験検査〔食品化学部門、微生物部門〕

令和6年度の生活衛生に関する試験検査の実施状況は、表2-1-1～表2-1-5のとおりである。

表2-1-1 年間取扱件数

		総数 検体数 項目数		令和6年												令和7年		
				4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月			
水質検査	プール水	22	132				10	12										
	浴槽水	30	30		17		8						5					
	小計	52	162	0	17	0	18	12	0	0	0	0	5	0	0	0	0	0
家庭用品検査	繊維製品	120	230			30	5		35	10	35							5
	家庭用化学製品	0	0															
	小計	120	230	0	0	30	5	0	35	10	35	0	0	0	0	0	0	5
その他検査	貸おしぼり	6	30							3	3							
	小計	6	30	0	0	0	0	0	3	3	0	0	0	0	0	0	0	0
	計	178	422	0	17	30	23	12	38	13	35	5	0	0	0	0	0	5

表2-1-2 水質検査基準不適合検体の内容

検体の種類	検体数	不適合項目
プール水	1	過マンガン酸カリウム消費量
浴槽水	3	レジオネラ属菌



表2-1-4 家庭用品違反品の概要

試買・収去年月	家庭用品区分	検査項目	検出値	基準
違反なし				

表2-1-5 その他の検査の不適合内容

検体の種類	検体数	不適合項目
貸おしぼり	1	一般細菌数
※貸おしぼりの衛生基準において望ましいとされる一般細菌数を超過していたため		

## 2 食品衛生及び栄養に関する試験検査〔食品化学部門、微生物部門〕

令和6年度の食品衛生及び栄養に関する試験検査の実施状況は、表2-2-1～表2-2-25のとおりである。

表2-2-1 年間取扱件数

	総数		令和6年									令和7年		
	検体数	項目数	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
食中毒等の微生物学的検査	598	10,662	69	123	2	23	32	2	78	28		124	38	79
食中毒等の理化学的検査	1	1						1						
収去食品の微生物学的検査	361	1,094	20	30	45	27	35	30	22	36	40	21	30	25
（うち、食品の規格検査）	113	199		15	20	4	7			6	20	11	30	
遺伝子組換え食品の検査	10	30										10		
食品中の食品添加物検査	285	1,782		40	7	29	20	26	40	40	23	20		40
食品中の残留農薬検査	122	24,819		16		5	16	16		16	12	15	16	10
PCB、水銀等の食品汚染物質検査	55	108		10		19					13			13
食品中の残留動物用医薬品検査	175	5,340	6	10	48		5	26	18		6		25	31
食品の放射能汚染検査	70	82	1	3	6	6	7	3	3	8	5	13	5	10
自然毒検査	10	15		5							5			
器具及び容器包装の検査	6	24												6
食品中の特定原材料の検査	210	210	30	30			30		30	30	30			30
上記以外食品の規格検査(理化学検査)	4	8					4							
食品衛生外部精度管理	20	34			3	2	1	3	3	5	3			
計	1,927	44,209	126	267	111	111	150	106	194	163	137	203	114	244

\*検体数及び項目数は、複数の検査分類で再掲しているため、計は実際の数と異なる。

表2-2-2 食中毒などの取扱件数及び検体数(微生物学的検査)

		計	令和6年									令和7年		
			4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
取扱件数		31 (13)	2 (1)	4 (2)	1	1	2 (1)	2	5 (3)	1 (1)	3 (2)	2 (1)	8 (2)	
総検体数		598 (301)	69 (24)	123 (24)	2	23	32 (14)	2	78 (57)	28 (28)	124 (87)	38 (36)	79 (31)	
各 検 体 数	細菌検査	526 (267)	67 (24)	103 (24)	2	20	32 (14)	2	78 (57)	28 (28)	92 (61)	34 (32)	68 (27)	
	ウイルス検査	242 (116)	35 (13)	39	12	1	1	1	15 (15)	76 (52)	22 (20)	40 (16)		
	核酸検査	335 (173)	35 (13)	67 (15)	2	13	14 (8)	2	29 (22)	17 (17)	81 (57)	25 (23)	50 (18)	

注) ( )内は本市で食中毒事件と断定した事例

表2-2-3 食中毒などの検体数及び項目数(微生物学的検査)

	計		食中毒*		その他	
	取扱件数	検体数及び項目数	取扱件数	検体数及び項目数	取扱件数	検体数及び項目数
患者便	31	598	13	301	18	297
業者便		10,662		5,543		5,119
業者手指ふきとり						
施設器具ふきとり						
食品						
吐物						
飲用水						
菌株						
その他						

\*本市で食中毒事件と断定した事例

表2-2-4 食中毒\* 病因物質発生状況(微生物学的検査)

病因物質	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度
サルモネラ属菌						
カンピロバクター	5	3	1		3	5
黄色ブドウ球菌	1					1
セレウス菌						
病原大腸菌					2	1
ウェルシュ菌			1			
腸炎ビブリオ						
ノロウイルス	3	1	1	1	5	6
サボウイルス						
クドア・セブテンブクタータ				2		
不明						
その他						
計	16	5	3	3	10	13

\*本市で食中毒事件と断定した事例

表2-2-5 食中毒(理化学)関連及び食品苦情等に関わる検査

発生月	対象食品	概要	検体数	検査項目
9月	バイ貝煮つけ	バイ貝煮つけ 1検体	1	テトラミン

表2-2-6 取去食品の細菌数などの検査結果

検体の種類	検体数	細菌数			大腸菌群陽性	E.coli陽性	大腸菌陽性	腸内細菌科菌群陽性	乳酸菌数基準未滿	黄色ブドウ球菌数			E.coli最確数			腸炎ビブリオ最確数		
		3,000/g以下	3,001/g ~ 10 <sup>5</sup> /g以下	10 <sup>5</sup> /gを超える						50/g未滿	50/g ~ 100/g以下	100/gを超える	18/100g未滿	18/100g ~ 230/100g以下	230/100gを超える	3.0/g未滿	3.0/g ~ 100/g以下	100/gを超える
和生菓子	40	36	3	1	0	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
洋生菓子	10	8	2	0	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
残置食	50	-	-	-	-	-	0	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
生食用鮮魚介類及び魚介類加工品	18	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	18	0	0
ゆでがに	3	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	3	0	0	-
浅漬	15	-	-	-	-	-	0	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
魚肉ねり製品	20	-	-	-	0	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
路上弁当	8	4	2	2	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
アイスクリーム類	4	1	3	0	0	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
生食用食肉	3	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
清涼飲料水	4	-	-	-	0	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
そう菜	20	17	3	0	-	-	0	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
非加熱食肉製品	10	-	-	-	-	0	-	-	-	10	0	0	-	-	-	-	-	-
豆腐	10	8	0	2	-	-	0	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
生食用かき	11	11	0	0	-	-	-	-	-	-	-	-	6	5	0	11	0	0
冷凍食品																		
無加熱摂取冷凍食品	7	7	0	0	0	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
加熱後摂取冷凍食品 (凍結直前加熱)	5	5	0	0	0	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
加熱後摂取冷凍食品 (凍結直前未加熱)	18	18	0	0	-	0	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-

表2-2-7 収去食品の食中毒菌などの検出件数

項目 検体の種類	検体数	黄色ブドウ球菌	サルモネラ属菌	腸炎ビブリオ	ナグビブリオ	ビブリオ・ミミクス	ビブリオ・フルビアリス	その他のビブリオ	エロモナス・ヒドロフィラ	エロモナス・ソブリア	その他のエロモナス	プレシオモナス・シゲロイデス	病原大腸菌	カンピロバクター・ジェジュニ	カンピロバクター・コリ	セレウス菌	ウエルシユ菌	リステリア・モノサイトゲネス	ノロウイルス	
		和生菓子	40	0	0	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
洋生菓子	10	0	0*	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
残置食	50	0	0	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	
生食用鮮魚介類	9	-	-	0	0	0	0	1	3	1	2	0	-	-	-	-	-	-	-	
浅漬	15	-	-	0	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	0**	-	
路上弁当	8	0	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
腸管出血性大腸菌実態調査*** 野菜類・果実及びその加工品	25	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	0	-	-	-	-	-	-	
その他の食品	3	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	0	-	-	-	-	-	-	
鶏肉	57	-	34	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	32	2	-	-	-	-	
そう菜	20	0	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	0	-	-	
ナチュラルチーズ	10	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	0	-	
非加熱食肉製品	10	-	0	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	0	-	
生食用かき	11	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	0	
豆腐	10	0	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	

\*検査対象は7検体  
\*\*検査対象は10検体  
\*\*\*腸管出血性大腸菌(6血清群)のみ

表2-2-8 遺伝子組換え食品の検査結果

	検体数	安全性未審査遺伝子組換え食品の混入		
		項目数	検出数	基準値
トウモロコシ				
トウモロコシ缶詰	4	12	0	検出しない
とうもろこし	1	3	0	検出しない
米				
米粉	1	3	0	検出しない
上新粉	3	9	0	検出しない
もち	1	3	0	検出しない
合計	10	30	0	

安全性未審査遺伝子組換え食品混入の有無の検査項目

- 安全性未審査遺伝子組換えトウモロコシ(CBH351)
- 安全性未審査遺伝子組換えトウモロコシ(DAS59132)
- 安全性未審査遺伝子組換えトウモロコシ(Bt10)
- 安全性未審査遺伝子組換え米(63Btコメ)
- 安全性未審査遺伝子組換え米(NNBtコメ)
- 安全性未審査遺伝子組換え米(CpTIコメ)

表2-2-9 食品中の甘味料の検査結果

	検体数	検出数	サッカリンナトリウム	
			使用基準 違反数	表示 違反数
そうざい及び半製品	53	0	0	0
輸入食品	60	0	0	0
漬物	54	2	0	0
魚肉ねり製品	20	0	0	0
菓子	30	0	0	0
計	217	2	0	0

表2-2-10 食品中の保存料の検査結果

	検体数	ソルビン酸			安息香酸*			デヒドロ酢酸		
		検出数	使用基準 違反数	表示 違反数	検出数	使用基準 違反数	表示 違反数	検出数	使用基準 違反数	表示 違反数
そうざい及び半製品	53	11	0	1	0	0	0	0	0	0
輸入食品(ワイン除く)	60	1	0	0	1	0	0	0	0	0
漬物	54	9	0	0	1	0	0	0	0	0
魚肉ねり製品	20	0	0	0	0	0	0	0	0	0
菓子	30	0	0	0	0	0	0	0	0	0
食肉製品	15	10	0	0	0	0	0	0	0	0
輸入ワイン	20	0	0	0	0	0	0	0	0	0
計	252	31	0	1	2	0	0	0	0	0

\*安息香酸はクランベリー等多くの食品に天然に含有されている(食品衛生検査指針食品添加物編追補2020)

表2-2-11 食品中の着色料の検査結果

	検査		検出		表示 違反数
	検体数	項目数	検体数	項目数	
漬物	25	300	1	1	0
いくら、すじこ、たらこ	10	120	6	16	0
菓子	20	240	0	0	0
計	55	660	7	17	0

検査項目：食用赤色2号<sup>※</sup>、食用赤色3号<sup>※</sup>、食用赤色40号<sup>※</sup>、食用赤色102号、食用赤色104号、食用赤色105号、  
食用赤色106号、食用黄色4号<sup>※</sup>、食用黄色5号<sup>※</sup>、食用緑色3号<sup>※</sup>、食用青色1号<sup>※</sup>、食用青色2号<sup>※</sup>

(※アルミニウムレーキ含む)

表2-2-12 食品中の指定外酸化防止剤  
(ターシャリーブチルヒドロキノン (TBHQ) ) の検査結果

	検体数	TBHQ	
		検出数	使用基準 違反数
輸入食品	20	0	0

表2-2-13 食品中の漂白剤の検査結果

	検体数	検出数	亜硫酸	
			使用基準 違反数	表示 違反数
果実酒	20	20	0	0
エビ(冷凍)	10	0	0	0
ドライフルーツ	4	0	0	0
かんぴょう	3	3	0	0
その他の食品	12	1	0	1
計	49	24	0	1

表2-2-14 食品中の発色剤の検査結果

	検体数	検出数	亜硝酸ナトリウム	
			使用基準 違反数	表示 違反数
食肉製品	15	15	0	0
いくら、すじこ、たらこ	10	7	0	0
計	25	22	0	0

表2-2-15 輸入果実中の防ばい剤の検査結果

	検 査		検 出		基準超過数
	検体数	項目数	検体数	項目数	
かんきつ類	5	45	5	14	0
バナナ	1	10	0	0	0
計	6	55	5	14	0

検査項目：アゾキシストロビン、イマザリル、オルトフェニルフェノール、ジフェニル、チアベンダゾール、ピリメタニル、フルジオキシニル、プロピコナゾール、ジフェノコナゾール

表2-2-16 食品中の残留農薬検査結果

食品の種類	産地	検 査		検 出		違反数
		検体数	項目数	検体数	項目数	
魚介類	外国水域	0				
	日本近海	12	1,296	0	0	0
穀類およびその加工品	国内	5	1,370	5	7	0
果実	外国	21	4,449	15	34	0
	国内	20	4,072	14	57	0
野菜	外国	8	1,704	3	4	0
	国内	46	9,798	27	48	0
冷凍食品	外国	10	2,130	7	17	0
	計	122	24,819	71	167	0

表2-2-17 水産物中のPCB、水銀検査結果

	検体数	PCB*			総水銀			メチル水銀*2		
		検出数	暫定的 規制 違反数	基準値 (ppm)	検出数	暫定的 規制 違反数	基準値 (ppm)	検出数	暫定的 規制 違反数	基準値 (ppm)
いか類(遠洋)	2	0	0	0.5	2	0	0.4			0.3
いか類	2	0	0	3	2	0	0.4			0.3
海産魚(遠洋)	13	2	0	0.5	12	1	0.4	1	1	0.3
海産魚(その他)	33	15	0	3	32	1	0.4	2	2	0.3
水銀適用除外海産魚*2	0			-			-			-
計	50	17	0	/	48	2	/	3	3	/

\* PCBは遠洋沖合魚介類は0.5ppm、それ以外の魚介類は3ppmと暫定的規制値が定められている。

\*2 水銀は総水銀0.4ppmかつメチル水銀0.3ppmと暫定的規制値が定められているが、マグロ類、河川産の魚介類、深海性魚介類等は適用を除外されている。また、メチル水銀の検査は総水銀が暫定的規制を超えた時のみ実施する。

表2-2-18 食品中の重金属の検査結果

	検体数	カドミウム		
		検出数	基準超過数	基準値(ppm)
米	5	3	0	0.4

表2-2-19 畜水産食品中の残留抗生物質、合成抗菌剤、内寄生虫用剤の検査結果

	検査		検出		基準違反数
	検体数	項目数	検体数	項目数	
牛	筋肉	23	858	0	0
	腎臓	23	884	0	0
	輸入牛肉	5	195	0	0
豚	筋肉	23	585	0	0
	腎臓	23	667	0	0
	輸入豚肉	5	130	0	0
鶏	筋肉	18	618	0	0
	肝臓	18	532	0	0
	輸入鶏肉	4	152	0	0
鶏卵	5	165	0	0	0
乳	6	216	0	0	0
養殖魚介類	魚介類(すずき目)	10	160	0	0
	魚介類(ふぐ目)	2	58	0	0
	魚介類(その他の魚類)	0	0	0	0
輸入冷凍えび	10	120	0	0	0
計	175	5,340	0	0	0

表2-2-20 食品中の放射能検査結果

食品大分類	検体数	<sup>134</sup> Cs	<sup>137</sup> Cs	基準 超過数	基準(ベクレル/kg) *2
		検出数	検出数		
魚介類及び魚介類加工品	15	0	1	0	100
牛乳*	3	0	0	0	50
穀類及びその加工品(うち乳児用食品)	6 (1)	0	0	0	100(50)
野菜類・果実類及びその加工品	42	0	1	0	100
清涼飲料水(うち乳児用食品)	3 (3)	0	0	0	一般100、飲料水10(50)
その他の食品(うち乳児用食品)	1 (1)	0	0	0	100(50)
計	70	0	2	0	

\* 乳及び乳製品の成分規格等に関する省令(昭和26年厚生省令第52号)の乳(牛乳、低脂肪乳、加工乳など)及び乳飲料

\*2 基準値は<sup>134</sup>Csと<sup>137</sup>Csの合計値

表2-2-21 二枚貝の貝毒の検査結果

	検体数	麻痺性貝毒		下痢性貝毒	
		検出数	基準 違反数	検出数	基準 違反数
二枚貝	5	0	0	0	0

表2-2-22 ふぐ加工品のふぐ毒の検査結果

	検体数	ふぐ毒	
		検出数	基準 違反数
ふぐ加工品	5	0	0

表2-2-23 器具・容器包装の検査結果

	検体数	規格	
		検査項目数	基準違反数
土鍋、茶碗	4	8	0
合成樹脂製容器	2	16	0
計	6	24	0

表2-2-24 食品中の特定原材料の検査結果

	検体数	項目数	卵		乳		小麦		落花生		えび・かに		そば	
			検体数	検出数	検体数	検出数	検体数	検出数	検体数	検出数	検体数	検出数	検体数	検出数
そう菜	120	120	60	1							30		30	
菓子	30	30							30					
輸入食品	30	30			30	1								
乳児用食品	30	30					30							
計	210	210	60	1	30	1	30	0	30	0	30	0	30	0

表2-2-25 その他規格（理化学検査）検査結果

	検体数	ヒ素		鉛	
		検出数	基準値	検出数	基準値
清涼飲料水 (ミネラルウォーター類以外)	4	0	検出しない	0	検出しない

## 3 医薬品成分に関する試験検査 [食品化学部門]

令和6年度の医薬品成分に関する試験検査の実施状況は、表2-3-1～表2-3-2のとおりである。

表2-3-1 年間取扱件数

	総数		令和6年									令和7年		
	取扱検体数	検査項目数	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
健康食品	8	16											8	
計	8	16	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	8	0

表2-3-2 医薬品成分の試験検査結果

検査項目	検体の種類	検体数	検査結果
シブトラミン	健康食品	8	検出しない
タダラフィル	健康食品	8	検出しない

4 微生物及び免疫に関する試験検査 [微生物部門]

年間取扱件数

令和5年度の微生物及び免疫に関する試験検査の実施状況は、表2-4-1 から表2-4-4 のとおりである。

表2-4-1 年間取扱件数

項目	細分	総数		令和6年												令和7年		
		検体数	項目数	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月			
感染症発生动向調査	ウイルス検査	90	833	13	2	9	12	7	3	8	14	5	4	3	10			
	細菌検査	61	238	10	2	3	7	5		7	7	3	4	3	10			
ゲノムサーベランス(コロナウイルス)	ゲノム解析検査	102	102										63	28	11			
三類感染症病原体検査	細菌検査	333	337	1	8	7	190	35	7	27	33	14	6	2	3			
一般依頼検査	ウイルス検査	3	3										3					
	細菌検査	1	1					1										
行政依頼検査	ウイルス検査	395	623	57	72	44	12	7	5	12	14	38	13	42	79			
	リケッチア検査	4	8					1		3								
	細菌検査	66	66	4	5	8	7	5	5	8	9	4	2	3	6			
結核遺伝子検査(VNTR)	細菌検査	94	94	9	8	10	3	5	13	10	9	6	8	5	8			
計		1,149	2,305	94	97	81	231	66	33	75	86	70	103	86	127			

表2-4-2 京都市感染症発生动向調査事業 病原体検査取扱件数

	計	令和6年												令和7年		
		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月			
受付患者総数	87	13	2	8	10	7	3	8	13	5	4	3	11			
	ウイルス検査被検患者数	85	13	2	8	10	7	3	8	12	5	4	3	10		
	細菌検査被検患者数	61	10	2	3	7	5		7	7	3	4	3	10		
検体総数	151	23	4	12	19	12	3	15	21	8	8	6	20			
ウイルス検査 (検体数)	(小計)	90	13	2	9	12	7	3	8	14	5	4	3	10		
	糞便	65	11	2	4	8	5	1	7	8	3	4	3	9		
	咽頭ぬぐい液	20	1		5	3	1	2	1	6				1		
	髄液	5	1			1	1				2					
細菌検査 (検体数)	(小計)	61	10	2	3	7	5	0	7	7	3	4	3	10		
	糞便	59	10	2	3	7	5		7	6	3	4	3	9		
	咽頭ぬぐい液	2								1				1		
	髄液	0														
	尿	0														
その他	0															
マイコプラズマ検査 (検体数)	咽頭ぬぐい液	0														

表2-4-3 三類感染症病原体検査 取扱件数及び項目数

		計	令和6年						令和7年					
			4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
検体数		333	1	8	7	190	35	7	27	33	14	6	2	3
検査項目	赤痢菌	0												
	コレラ菌	1		1										
	チフス菌	4				1	3							
	パラチフスA菌	4				1	3							
	EHEC	328	1	7	7	189	32	7	27	33	14	6	2	3
計		337	1	8	7	191	38	7	27	33	14	6	2	3

表2-4-4 感染性胃腸炎集団発生検査取扱件数及び結果

		計	令和6年						令和7年					
			4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
施設数	59	11	8	5	0	1	0	1	2	3	3	10	15	
検体数	328	60	73	23	0	2	0	4	8	30	13	40	75	
陽性数	261	47	67	16	0	2	0	4	8	25	8	31	53	
ウイルス別検出数														
ノロウイルス(GI)	24					2			4	18				
ノロウイルス(GII)	211	42	56	12				4	4	7	8	25	53	
ロタウイルス	22	5	7	4								6		
サボウイルス	4		4											

## 5 衛生動物に関する検査、相談処理及び調査鑑別 [管理課]

令和6年度の衛生動物検査及び衛生相談の件数は、表2-5-1のとおりである。また、衛生動物に関する調査研究のために鑑別した個体数は、表2-5-2のとおりである。

表2-5-1 衛生動物検査及び衛生相談の件数

	計	令和6年									令和7年		
		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
衛生動物検査	19	2	0	4	2	2	6	2	0	0	0	0	1
衛生相談	3	1	1	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0

表2-5-2 衛生動物調査鑑別個体数

項目	個体数
センチネルトラップによる蚊成虫調査	739
旗ざり法によるマダニ生息調査	1,432
計	2,171

## 6 食肉衛生に関する試験検査〔食肉検査部門〕

令和6年度の食肉衛生に関する試験検査の実施状況は、表2-6-1～表2-6-10のとおりである。

表2-6-1 試験検査取扱件数

〔食肉検査部門〕	
検査名等	
と畜検査	34,248 頭
(正常)	34,148 頭
(病切迫畜)	100 頭
合否保留	127 頭
精密検査	221 頭
処分(全部・一部廃棄)	29,832 頭
BSEスクリーニング検査	2 件
瑕疵検査	318 件
監視指導	1,541 件

表2-6-2 食肉衛生に関する試験検査の取扱件数(と畜検査頭数)

畜種	件数	令和6年								令和7年			
		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
牛 肉牛	14,198	1,341	1,097	1,020	1,222	969	1,093	1,292	1,522	1,424	1,045	1,020	1,153
	(92)	(9)	(6)	(11)	(7)	(11)	(8)	(5)	(6)	(9)	(5)	(9)	(6)
乳牛	31	0	9	0	4	5	1	4	3	0	5	0	0
	(8)	(0)	(0)	(0)	(1)	(1)	(0)	(1)	(2)	(0)	(3)	(0)	(0)
計	14,229	1,341	1,106	1,020	1,226	974	1,094	1,296	1,525	1,424	1,050	1,020	1,153
	(100)	(9)	(6)	(11)	(8)	(12)	(8)	(6)	(8)	(9)	(8)	(9)	(6)
子牛	0	(0)	(0)	(0)	(0)	(0)	(0)	(0)	(0)	(0)	(0)	(0)	(0)
馬	0												
豚	20,019	1,773	1,506	1,671	1,720	1,524	1,566	1,710	1,820	1,663	1,803	1,508	1,755
	(0)	(0)	(0)	(0)	(0)	(0)	(0)	(0)	(0)	(0)	(0)	(0)	(0)
めん羊	0												
山羊	0												
計	34,248	3,114	2,612	2,691	2,946	2,498	2,660	3,006	3,345	3,087	2,853	2,528	2,908
	(100)	(9)	(6)	(11)	(8)	(12)	(8)	(6)	(8)	(9)	(8)	(9)	(6)

下段( )内の数字は病切迫畜の件数(再掲)

表2-6-3 畜種別と畜処分件数（処分実頭数）

畜種	解体禁止	全部廃棄	一部廃棄
牛		41	12,826
子牛			
馬			
豚		8	16,957
めん羊			
山羊			
合計	0	49	29,783

表2-6-4 病名別全部廃棄頭数

牛		豚	
疾病名	頭数	疾病名	頭数
牛伝染性リンパ腫	23	豚丹毒	2
敗血症	9	尿毒症	2
尿毒症	7	全身性腫瘍	1
全身性腫瘍	1	敗血症	1
高度の黄疸	1	サルモネラ症	1
計	41	高度の黄疸	1
		計	8

※13頭を即決廃棄(牛伝染性リンパ腫)

表2-6-5 牛 部位別主要疾病廃棄件数

	発生頭数	と畜頭数に占める割合(%)
総頭数	14,229	
心臓疾患	884	6.2
心外膜炎	136	1.0
脾臓疾患	58	0.4
肺臓疾患	3,100	21.8
肺胸膜炎	951	6.7
肺炎	968	6.8
吸入肺	300	2.1
肺点状出血	420	3.0
肺気腫	256	1.8
肺膿瘍	192	1.3
横隔膜疾患	1,702	12.0
横隔膜膿瘍	372	2.6
横隔膜筋炎	413	2.9
横隔膜水腫	328	2.3
横隔膜炎	416	2.9
横隔膜出血(スポット)	76	0.5
肝臓疾患	7,006	49.2
富脈斑肝	3,884	27.3
鋸屑肝	695	4.9
肝包膜炎	620	4.4
肝膿瘍	444	3.1
肝炎	298	2.1
肝小葉間静脈炎	322	2.3
胆管炎	233	1.6
好酸球性巣状性肝炎	302	2.1
褪色肝	122	0.9
胃疾患	5,758	40.5
胃炎	3,471	24.4
胃潰瘍	1,454	10.2
胃膿瘍	88	0.6
創傷性胃炎	117	0.8
胃出血(スポット)	621	4.4
腸疾患	3,170	22.3
腸炎	2,073	14.6
腸黒色症	429	3.0
消化器脂肪壊死	486	3.4
腎臓疾患	1,792	12.6
腎炎	779	5.5
腎周囲脂肪壊死	259	1.8
のう胞腎	255	1.8
膀胱疾患	255	1.8
膀胱炎	111	0.8
膀胱結石	115	0.8
子宮疾患	166	1.2
子宮内膜炎	101	0.7
乳房疾患	44	0.3
頭部疾患	442	3.1
筋・骨格疾患	10,794	75.9
血液浸潤	5,993	42.1
膠様浸潤	973	6.8
血腫	858	6.0
筋肉炎	1,194	8.4
骨折	369	2.6
石灰沈着	384	2.7
関節炎	176	1.2
筋肉膿瘍	57	0.4
胸膜炎	339	2.4

表2-6-6 豚 部位別主要疾病廃棄件数

	発生頭数	と畜頭数に占める割合(%)
総頭数	20,019	
心臓疾患	433	2.2
心外膜炎	363	1.8
心内膜炎	47	0.2
肺臓疾患	16,455	82.2
肺炎(MPS)	9,609	48.0
胸膜炎	3,628	18.1
肺炎(APP)	2,810	14.0
肺膿瘍	620	3.1
肝臓疾患	1,814	9.1
肝線維症	687	3.4
白斑肝	292	1.5
肝炎	403	2.0
肝包膜炎	291	1.5
褪色肝	93	0.5
腸疾患	621	3.1
腸抗酸菌症	50	0.2
腸炎	524	2.6
腎臓疾患	2,767	13.8
のう胞腎	1,690	8.4
腎炎	775	3.9
筋・骨格疾患	4,648	23.2
血液浸潤	2,328	11.6
胸膜炎	934	4.7
筋肉炎	388	1.9
筋肉膿瘍	253	1.3
血腫	164	0.8
膠様浸潤	135	0.7
骨折	13	0.1

表2-6-7 牛枝肉せり売り前再検査による異常疾病発見件数

疾病名	件数
筋肉炎	1,320
スポット	92
血液浸潤	45
水腫	60
その他	109
計	1,626

表2-6-8 保留理由別頭数及び保留後全部廃棄頭数

保留理由	総計		牛(子牛を含む)		豚	
	保留頭数	廃棄頭数	保留頭数	廃棄頭数	保留頭数	廃棄頭数
抗菌性物質残留	86	0	86	0	0	0
豚丹毒	6	2	0	0	6	2
敗血症*	9	10	9	9	0	1
牛伝染性リンパ腫	10	10	10	10	0	0
尿毒症	10	9	8	7	2	2
全身性腫瘍	3	2	2	1	1	1
高度の水腫	0	0	0	0	0	0
サルモネラ症	1	1	0	0	1	1
高度の黄疸	2	2	1	1	1	1
その他	0	0	0	0	0	0
計	127	36	116	28	11	8

\*前年度から保留していた豚の合否結果を計上

表2-6-9 と畜検査における精密検査実施状況

検査目的	検査頭数	検体件数	検査項目数	検査項目								
				細菌検査	病理検査	理化学検査	血液検査	抗菌性物質	PCR	免疫生化学検査	その他	
牛	BSEスクリーニング検査	2	2	2								2
	抗菌性物質残留	115	460	1,820					1,820			
	牛伝染性リンパ腫	23	581	697		592	4	80				21
	腫瘍(白血病を除く)	2	46	100		95		4				1
	敗血症	9	52	108	84		12	12				
	黄疸	1	2	5			2	3				
	水腫	0	0	0								
	尿毒症	8	26	43		2	26	15				
豚	抗菌性物質残留	9	36	144					144			
	豚丹毒	6	17	54	51						3	
	腫瘍(白血病を除く)	1	15	51		51						
	黄疸	1	2	2			2					
	尿毒症	2	5	5			5					
	サルモネラ症	1	5	10	5						5	
その他(病名判定を含む)	41	40	104		25	24	55					
合計	221	1,289	3,145	140	765	75	169	1,964	8	24	0	

表2-6-10 調査研究及びその他の検査実施状況

調査研究	検査目的	検査件数	検査項目数	検査項目								
				細菌検査	病理検査	理化学検査	血液検査	抗菌性物質	PCR	免疫生化学検査	その他	
調査研究	牛枝肉の細菌汚染調査	60	120	120								
	豚枝肉の細菌汚染調査	60	120	120								
	小計	120	240	240	0	0	0	0	0	0	0	0
その他	牛枝肉のサルモネラ検査	140	280	140								140
	牛枝肉のSTEC検査	24	48	24					24			
	小計	164	328	164	0	0	0	0	24	0	0	140
計		284	568	404	0	0	0	0	24	0	0	140

## 7 環境に関する試験検査 [環境部門、微生物部門]

令和6年度の環境に関する試験検査の実施状況は、表2-7-1から表2-7-11のとおりである。

また、環境省からの委託を受けて、化学物質環境実態調査として、京都市衛生環境研究所屋上にて大気試料(1件)の採取及び一般的状況測定を行った。同調査で桂川宮前橋下流において、水質(1件)及び底質(3件)の試料採取を行った。

表2-7-1 環境に関する試験検査など取扱件数

		総数		令和6年								令和7年				
		件数	項目数	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	
大気	降下ばいじん	20	60	1	3	1	1	3	1	1	3	1	1	3	1	
	悪臭物質	35	255		12				5	12	6					
	酸性雨	51	102	4	4	4	5	4	5	4	4	4	4	4	5	
	アスベスト	12	12									12				
	重油中硫黄分															
	工場ばい煙など	12	30			12										
	有害大気汚染物質	49	644	4	4	4	5	4	4	4	4	4	4	4	4	
小計		179	1,103	9	23	21	11	11	15	21	17	21	9	11	10	
水質 (理化学検査)	工場事業場排水	20	430	5	5			5			5					
	ゴルフ場排水	8	107					4			4					
	浄化槽放流水															
	河川水	8	193				3	1		1			3			
	地下水	77	983				31			11		27	4	4		
	底質・土壌	17	217			6	3	4					4			
	池沼水															
	環境研排水	6	138		1		1		1		1		1		1	
	その他(河川事故検体)															
精度管理	1	2				1										
依頼検査																
水質 (細菌検査)	工場事業場排水	13	13	2	5				1		5					
	浄化槽放流水															
	河川水	6	6					3					3			
小計			156	2,089	7	11	6	39	17	2	12	15	27	15	4	1
計			335	3,192	16	34	27	50	28	17	33	32	48	24	15	11

注) 窒素酸化物、浮遊粒子状物質等に係る大気汚染常時監視の件数は含まない。

表2-7-2 降下ばいじん量の経年変化(年平均)

単位:トン/(km<sup>2</sup>・月)

年度	平成														
	元	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15
総量	3.1	2.4	1.8	1.8	2.1	1.6	2.1	1.7	1.6	1.1	1.4	2.2	1.7	1.3	1.6
溶解性成分量	2.0	1.4	1.0	1.1	1.0	0.7	1.3	0.9	0.9	0.7	0.8	1.3	1.0	0.7	0.9
不溶解性成分量	1.1	1.0	0.8	0.7	1.1	0.9	0.8	0.8	0.7	0.4	0.6	0.9	0.7	0.6	0.7

年度	平成														
	16	17	18	19	20	21	22	23	24	25	26	27	28	29	30
総量	1.7	1.7	1.6	1.6	1.6	1.5	1.3	1.2	1.4	1.6	欠測	1.0	1.1	1.3	1.4
溶解性成分量	1.0	1.0	0.9	0.9	0.9	0.9	0.7	0.6	0.6	0.7	欠測	0.5	0.5	0.7	0.7
不溶解性成分量	0.7	0.7	0.7	0.7	0.7	0.6	0.6	0.6	0.8	0.9	欠測	0.5	0.6	0.7	0.7

年度	令和					
	元	2	3	4	5	6
総量	1.4	1.7	1.5	1.7	1.1	1.3
溶解性成分量	0.8	1.2	0.7	0.8	0.5	0.5
不溶解性成分量	0.6	0.5	0.8	0.9	0.6	0.8

注1) 平成元年度から平成30年度までの測定場所は旧衛生環境研究所(中京区)屋上

注2) 令和元年度から令和3年度までの測定場所は研究所の移転及び京都府保健環境研究所の解体作業のため伏見区総合庁舎屋上

注3) 令和4年度以降の測定場所は衛生環境研究所(伏見区)屋上

表2-7-3-1 悪臭測定結果濃度分布表

物質名	敷地境界基準 (ppm)	基準超過地点数	基準以下地点数	延地点数	10～	1～	0.5～	0.1～	0.05～	0.010	0.005	0.0010	検出限界未満	検出限界値 (ppm) 参考
					1.1 (ppm)	0.51 (ppm)	0.11 (ppm)	0.051 (ppm)	0.011 (ppm)	～ 0.0051 (ppm)	～ 0.0011 (ppm)	～ 検出限界 (ppm)		
アンモニア	1	0	27	27			6	7					14	0.05
メチルメルカプタン	0.002	0	18	18									18	0.0002
硫化水素	0.02	0	18	18							2		16	0.002
硫化メチル	0.01	0	18	18									18	0.0008
二硫化メチル	0.009	0	18	18									18	0.0009
トリメチルアミン	0.005	—	—	—									—	0.0005
アセトアルデヒド	0.05	0	12	12						1	11			0.0005
プロピオンアルデヒド	0.05	0	12	12								1	11	0.0005
ノルマルブチルアルデヒド	0.009	0	12	12									12	0.0005
イソブチルアルデヒド	0.02	0	12	12									12	0.0005
ノルマルバレールアルデヒド	0.009	0	12	12									12	0.0005
イソバレールアルデヒド	0.003	0	12	12									12	0.0005
イソブタノール	0.9	0	12	12									12	0.05
酢酸エチル	3	0	12	12									12	0.05
メチルイソブチルケトン	1	0	12	12									12	0.05
トルエン	10	0	12	12									12	0.05
スチレン	0.4	0	12	12									12	0.05
キシレン	1	0	12	12									12	0.05
プロピオン酸	0.03	0	3	3									3	0.001
ノルマル酪酸	0.001	0	3	3									3	0.0002
ノルマル吉草酸	0.0009	0	3	3									3	0.0002
イソ吉草酸	0.001	0	3	3									3	0.0002

注) 令和6年度はトリメチルアミンの測定は実施しなかった。

表2-7-3-2 京都府環境を守り育てる条例に基づく大気中有害物質調査結果

物質名	敷地境界規制基準 (ppm)	排出口規制基準 (ppm)	敷地境界調査地点数	排出口調査地点数	基準超過地点数	基準以下地点数	延地点数	100	100	10	1	0.1	検出限界未満	検出限界値 (ppm) 参考
								(ppm) 以上	～ 10 (ppm)	～ 1 (ppm)	～ 0.1 (ppm)	～ 検出限界 (ppm)		
トルエン	2	200	8	4	0	12	12	1	1	1	0	9	0.05	
キシレン	3	300	6	3	0	9	9		1	2	3	3	0.05	
メチルエチルケトン	3	300	6	3	0	9	9	1	0	1	0	7	0.05	

表2-7-4 降水のpH値の経年変化

年度	平成														
	元	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15
加重平均値	-	4.6	4.6	4.5	4.8	4.6	4.7	4.6	4.7	4.8	4.7	4.7	4.6	4.6	4.7
最高値	6.1	6.0	5.8	5.6	6.4	6.8	6.0	7.1	6.1	6.7	6.8	6.1	6.8	6.3	6.9
最低値	3.5	3.8	3.4	3.6	3.7	3.6	3.8	3.6	3.8	3.9	3.6	3.8	3.5	3.7	3.8

年度	平成														
	16	17	18	19	20	21	22	23	24	25	26	27	28	29	30
加重平均値	4.7	4.5	4.7	4.6	4.7	4.7	4.8	4.7	4.7	4.7	4.8	5.0	4.9	5.0	4.9
最高値	6.3	6.0	6.6	6.9	6.1	6.1	6.8	5.8	6.4	6.3	5.9	5.7	6.0	6.2	5.9
最低値	3.7	3.8	3.6	3.5	3.7	3.7	4.0	4.1	3.8	4.0	3.9	4.2	4.2	4.3	4.2

年度	令和					
	元	2	3	4	5	6
加重平均値	5.0	5.4	5.5	5.7	4.9	5.4
最高値	6.6	6.5	7.1	7.7	6.9	6.7
最低値	4.1	4.4	4.5	4.2	4.3	4.5

注1) 平成元年より令和元年10月15日までの測定場所は旧衛生環境研究所(中京区)屋上

注2) 令和元年10月28日以降の測定場所は新研究所(伏見区)屋上(研究所の移転のため)

表2-7-5 大気中アスベスト濃度の経年変化

単位:f(繊維数)/L									
測定場所	平成元年度	2年度	3年度	4年度	5年度	6年度	7年度	8年度	9年度
市役所局	1.38 (0.98~1.62)	0.83 (0.60~1.15)	0.73 (0.55~1.11)	0.28 (0.17~0.43)	0.62 (0.38~0.98)	0.23 (0.09~0.47)	0.37 (0.15~0.51)	0.48 (0.36~0.63)	0.30 (0.19~0.56)
壬生局	1.22 (0.72~1.91)	0.76 (0.17~1.49)	0.54 (0.43~0.64)	0.24 (0.09~0.77)	0.39 (0.21~0.85)	0.27 (0.17~0.43)	0.45 (0.26~0.68)	0.30 (0.12~0.71)	0.22 (0.15~0.30)
測定場所	平成10年度	11年度	12年度	13年度	14年度	15年度	16年度	17年度	18年度
市役所局	0.28 (0.20~0.40)	0.06 (0.00~0.09)	0.38 (0.22~0.52)	0.42 (0.33~0.54)	0.35 (0.30~0.49)	0.48 (0.23~0.73)	0.68 (0.61~0.74)	0.53 (0.44~0.89)	0.35 (0.24~0.55)
壬生局	0.42 (0.20~0.43)	0.06 (0.00~0.13)	0.14 (0.08~0.32)	0.40 (0.28~0.52)	0.35 (0.18~0.59)	0.77 (0.55~1.0)	0.87 (0.51~1.3)	0.61 (0.32~0.74)	0.41 (0.31~0.49)
測定場所	平成19年度	20年度	21年度	22年度※	23年度※	24年度※	25年度※	平成26年度※	27年度※
市役所局	0.23 (0.17~0.39)	0.13 (0.057~0.22)	0.071 (0.057~0.11)	0.22 (0.11~0.45)	0.23 (0.11~0.68)	0.25 (0.06~0.68)	0.20 (0.054~0.56)	0.10 (0.056~0.39)	0.15 (0.056~0.39)
壬生局	0.26 (0.17~0.39)	0.079 (0.057~0.22)	0.076 (0.057~0.17)	0.23 (0.11~0.39)	0.25 (0.11~0.45)	0.18 (0.056~0.51)	0.29 (0.11~0.51)	0.11 (0.056~0.22)	0.12 (0.056~0.34)
測定場所	28年度※	29年度※	30年度※	令和元年度※	2年度※	3年度※	4年度※	5年度※	6年度※
市役所局	欠測	欠測	欠測	欠測	欠測	欠測	欠測	欠測	欠測
壬生局	0.24 (0.11~0.51)	0.19 (0.11~0.42)	0.24 (0.14~0.39)	-	-	-	-	-	-
伏見局	-	-	-	0.27 (0.056~0.51)	0.22 (0.11~0.51)	0.30 (0.22~0.53)	0.37 (0.28~0.51)	0.26 (0.11~0.51)	0.38 (0.11~0.99)
大岩局	0.41 (0.28~0.56)	0.24 (0.17~0.34)	0.30 (0.17~0.45)	0.54 (0.45~0.68)	0.31 (0.22~0.45)	0.28 (0.17~0.45)	0.19 (0.11~0.45)	0.42 (0.17~0.85)	0.16 (0.11~0.34)

注) 上段:幾何平均 下段:濃度範囲

※平成22年度以降は総繊維数濃度を示す。

表2-7-6-1 有害大気汚染物質モニタリング調査結果

	(単位: $\mu\text{g}/\text{m}^3$ )				
	左京区総合庁舎 (一般環境)	南部まち美化事務所 (固定発生源周辺)	自排大宮局 (沿道)	自排山科局 (沿道)	環境基準
アクリロニトリル	0.031 (0.00055~0.14)	0.035 (0.00055~0.15)	-	-	-
塩化ビニルモノマー	0.017 (0.00045~0.091)	0.016 (0.00045~0.093)	-	-	-
塩化メチル	1.2 (1.1~1.4)	1.2 (1.1~1.4)	-	-	-
クロロホルム	0.36 (0.039~0.70)	0.28 (0.0035~0.53)	-	-	-
1,2-ジクロロエタン	0.10 (0.005~0.26)	0.099 (0.0045~0.25)	-	-	-
ジクロロメタン	1.2 (0.47~2.1)	0.97 (0.43~1.6)	-	-	150
テトラクロロエチレン	0.075 (0.004~0.28)	0.45 (0.004~2.8)	-	-	200
トリクロロエチレン	0.089 (0.00025~0.25)	0.86 (0.0035~1.9)	-	-	130
1,3-ブタジエン	0.026 (0.002~0.068)	0.033 (0.002~0.061)	0.078 (0.002~0.15)	0.040 (0.002~0.10)	-
ベンゼン	0.42 (0.055~0.77)	0.48 (0.092~0.79)	0.66 (0.16~1.1)	0.51 (0.13~0.85)	3
トルエン	2.4 (0.68~3.9)	6.5 (1.3~14)	3.7 (1.2~8.0)	3.4 (1.5~6.2)	-
ベンゾ[a]ピレン	0.049 (0.004~0.14)	-	0.078 (0.011~0.19)	0.053 (0.007~0.16)	-
酸化エチレン	0.052 (0.015~0.18)	-	-	-	-
アセトアルデヒド	2.2 (1.0~3.8)	-	2.6 (1.1~4.7)	2.1 (0.80~3.4)	-
ホルムアルデヒド	4.1 (2.1~7.7)	-	3.3 (1.4~6.7)	2.8 (1.3~6.1)	-
ニッケル化合物	2.6 (0.5~7.2)	-	-	-	-
ヒ素及びその化合物	0.48 (0.045~1.3)	-	-	-	-
バリウム及びその化合物	0.0019 (0.0002~0.0097)	-	-	-	-
マンガン及びその化合物	7.6 (1.2~15)	-	-	-	-
クロム及びその化合物	3.2 (0.35~7.6)	-	-	-	-
六価クロム化合物	0.081 (0.002~0.21)	-	-	-	-
水銀及びその化合物	1.4 (1.1~1.8)	-	-	-	-
キシレン	0.52 (0.22~1.1)	1.9 (0.48~4.7)	1.2 (0.51~4.3)	0.85 (0.35~1.4)	-
フロン11	1.3 (1.1~1.4)	-	-	-	-
フロン12	2.6 (2.4~3.0)	-	-	-	-
フロン113	0.46 (0.31~0.55)	-	-	-	-

注1) 上段:年平均値 下段:(最小値~最大値)

注2) ベンゾ[a]ピレン、ニッケル化合物、ヒ素及びその化合物、バリウム及びその化合物、マンガン及びその化合物、クロム及びその化合物、六価クロム化合物、水銀及びその化合物の単位は $\text{ng}/\text{m}^3$

表2-7-6-2 大岩街道周辺地域環境整備事業に関連する検査件数

## 有害大気汚染物質

物質名	検査件数
アクリロニトリル	1
塩化ビニルモノマー	1
塩化メチル	1
クロロホルム	1
1,2-ジクロロエタン	1
ジクロロメタン	1
テトラクロロエチレン	1
トリクロロエチレン	1
1,3-ブタジエン	1
ベンゼン	1
アセトアルデヒド	1
水銀及びその化合物	1
ニッケル化合物	1
ヒ素及びその化合物	1
マンガン及びその化合物	1
合計	15

## 降下ばいじん

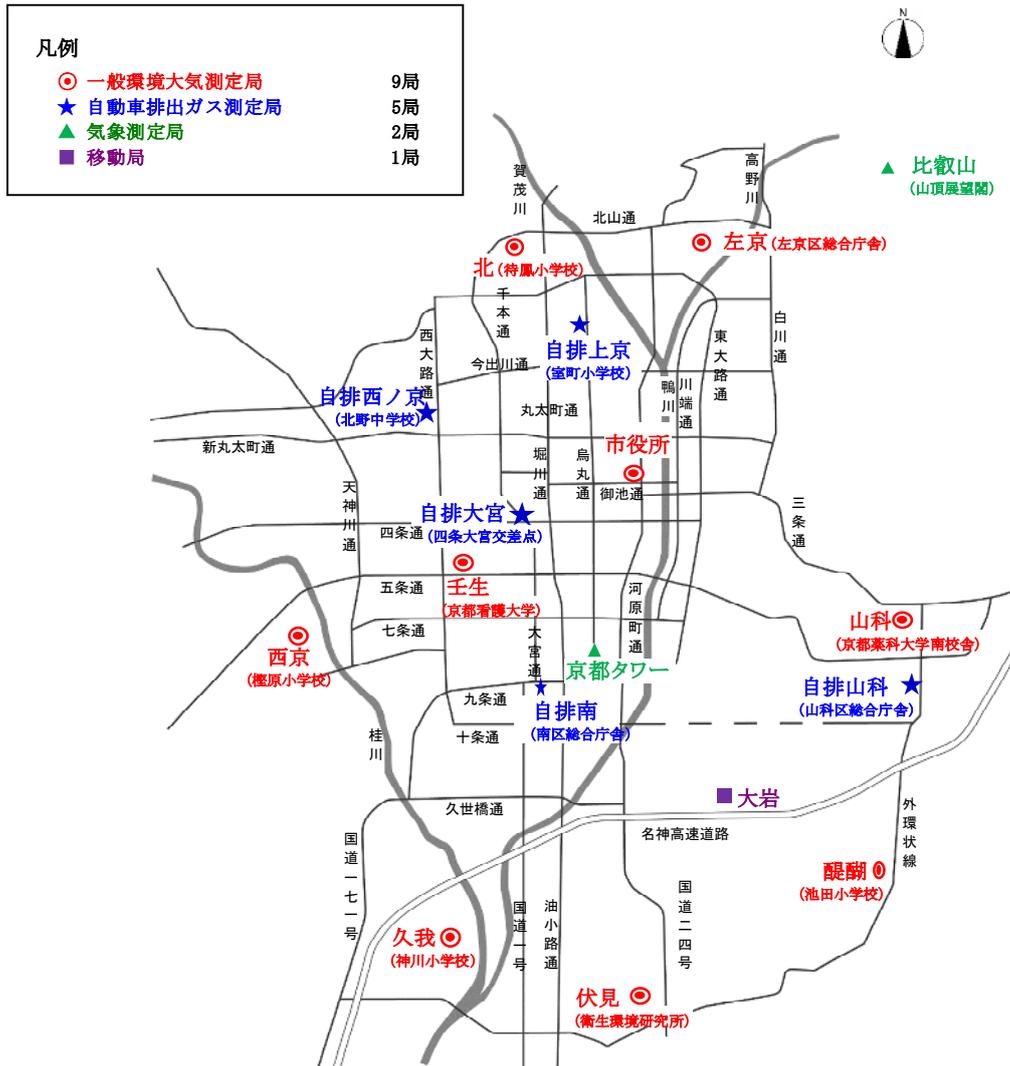
調査月	調査地点数	検査件数
5月	2	2
8月	2	2
11月	2	2
2月	2	2
合計		8

## 悪臭物質

物質名	調査地点数	検査件数
メタン	5	5
硫化水素	5	5
合計		10

## アスベスト

物質名	調査地点数	検査件数
アスベスト	2	6
合計		6



測定局所在地

大 気 局	市役所	中京区寺町御池上る上本能寺前町488 京都市役所 4階建て屋上	自 排 局	南	南区西九条南田町1の3 南区総合庁舎 前庭
	壬生	中京区壬生東高田町1の21 京都看護大学 校庭		大宮	中京区錦大宮町116 四条大宮交差点北西側
	伏見	伏見区村上町395 京都市衛生環境研究所 3階室内		山科	山科区榎辻池尻町14の2 山科区総合庁舎 前庭
	山科	山科区御陵四丁野町1 京都薬科大学 南校舎校庭		上京	京都市上京区室町通上立売上る室町頭町261 市立室町小学校 校庭
	左京	左京区松ヶ崎堂ノ上町7-2 左京区総合庁舎 2階室内		西ノ京	中京区西ノ京中保町1の4 市立北野中学校 校庭
	西京	西京区樫原三宅町24 市立樫原小学校 校庭	気 象 局	比叡山	左京区修学院牛ヶ額3 比叡山頂展望閣内
	久我	伏見区久我東町60の2 市立神川小学校 校庭		京都 タワー	下京区烏丸通七条下る東塩小路町721の1 京都タワー 展望室内
	北	北区紫竹西北町1-3 市立待鳳小学校 校庭	移動大岩局	伏見区深草飯食山町地内	
	醍醐	伏見区醍醐鍵尾町17 市立池田小学校 校庭			

図2-7-1 大気汚染常時監視測定局配置図

(令和7年3月31日現在)

表2-7-7 大気常時監視測定機整備状況

測定局	項目	SO <sub>2</sub>	SPM	NOx	Ox	CO	PM2.5	HC	日射量	温湿度	風向風速
		4台	14台	15台	9台	3台	12台	4台	1台	3台	10台
大 気 局	市役所		○	○	○		○				○
	壬生	○	○	○	○		○				○
	伏見	○	○	○	○		○	○	○	○	○
	山科	○	○	○	○		○				
	左京		○	○	○						○
	西京	○	○	○	○		○				○
	久我		○	○	○						
	北			○	○						○
	醍醐		○	○	○		○	○			○
自 排 局	南		○	○		○	○	○			
	大宮		○	○		○	○				
	山科		○	○		○	○	○			
	上京		○	○			○				
	西ノ京		○	○			○				
気 象 局	比叡山									○ 温度のみ	○
	京都 タワー									○ 温度のみ	○
移 動 局	大岩		○	○			○				○

表2-7-8 大気常時監視測定結果

(令和6年度)

種別	測定局名	二酸化硫黄 (SO <sub>2</sub> )		二酸化窒素 (NO <sub>2</sub> )		浮遊粒子状物質 (SPM)		微小粒子状物質 (PM <sub>2.5</sub> )		一酸化炭素 (CO)		光化学オキシダント (O <sub>3</sub> )	
		1日平均値 (2%除外値) (ppm)	達成状況	1日平均値 (年間98%値) (ppm)	達成状況	1日平均値 (2%除外値) (mg/m <sup>3</sup> )	達成状況	1年平均値 (μg/m <sup>3</sup> )	達成状況	1日平均値 (2%除外値) (ppm)	達成状況	1時間値 (最高値) (ppm)	達成状況
大気局	市役所	—		0.018	○	0.033	○	9.5	○	—		0.097	×
	壬生	0.001	○	0.019	○	0.031	○	8.5	○	—		0.099	×
	伏見	0.001	○	0.022	○	0.032	○	9.0	○	—		0.106	×
	山科	0.001	○	0.019	○	0.036	○	7.8	○	—		0.099	×
	左京	—		0.016	○	0.029	○	—		—		0.105	×
	西京	0.001	○	0.017	○	0.035	○	7.4	○	—		0.095	×
	久我	—		0.020	○	0.035	○	—		—		0.104	×
	北	—		0.012	○	—		—		—		0.092	×
	醍醐	—		0.019	○	0.031	○	8.2	○	—		0.102	×
	南	—		0.028	○	0.034	○	9.7	○	0.5	○	—	
自排局	大宮	—		0.026	○	0.033	○	9.7	○	0.5	○	—	
	山科	—		0.024	○	0.035	○	8.9	○	0.4	○	—	
	上京	—		0.016	○	0.034	○	8.6	○	—		—	
	西ノ京	—		0.018	○	0.029	○	8.2	○	—		—	
環境基準	長期的評価	1日平均値 0.04ppm以下		1日平均値 0.04ppmから0.06ppm までのゾーン内 又はそれ以下		1日平均値 0.10mg/m <sup>3</sup> 以下		1年平均値 15μg/m <sup>3</sup> 以下		1日平均値 10ppm以下		—	
	短期的評価	1時間値 0.1ppm以下		—		1時間値 0.20mg/m <sup>3</sup> 以下		1日平均値 35μg/m <sup>3</sup> 以下		1時間値の 8時間平均値 20ppm以下		1時間値 0.06ppm以下	

注1 表中の—印は、測定を実施していないことを示す。

注2 達成状況欄は長期的評価による達成=○、未達成=×を示す。(0xは短期的評価)

注3 SO<sub>2</sub>、SPM、COは、環境基準を超える日が2日以上連続した場合にも未達成と評価する。

表2-7-9 水質及び底質などに係る試験検査項目別取扱件数(理化学検査)

項目別(計)	規制工場・事業所排水調査	ゴルフ場排水農業調査	浄化槽放流水調査	河川水質調査など	河川底質	河川事故	地下水調査	岡田山(地下水)	岡田山(河川水)	岡田山(底質)	土壌調査溶出試験	土壌調査含有試験	池沼水質調査	池沼底質調査	循環研排水検査	精度管理・その他	行政以外からの依頼検査	
pH	115	20		2			68	9	6		4					6		
BOD	33	20		1					6							6		
COD	21	20		1														
浮遊物質	33	20		1					6							6		
カ-ヘキサン抽出物	26	20														6		
カドミウム	56	10			6		11	9	6	3	4	4				2	1	
全シアン	45	10					11	8	6		4	4				2		
鉛	56	10			6		11	9	6	3	4	4				2	1	
六価クロム	54	10			6		11	8	6	3	4	4				2		
ヒ素	52	10					17	9	6		4	4				2		
全水銀	55	11			6		11	8	6	3	4	4				2		
有機水銀	0																	
フェノール類	26	20														6		
銅	20	14														6		
亜鉛	35	14			6				6	3						6		
溶解性鉄	20	14														6		
溶解性マンガン	20	14														6		
全クロム	29	14			6					3						6		
フッ素	44	9					11	8	6		4	4				2		
ホウ素	44	9					11	8	6		4	4				2		
ニッケル	20	14														6		
セレン	45	10					11	8	6		4	4				2		
トリクロロエチレン	50	5					34	4	3		2					2		
テトラクロロエチレン	50	5					34	4	3		2					2		
1,1,1-トリクロロエタン	48	5					32	4	3		2					2		
四塩化炭素	48	5					32	4	3		2					2		
ジクロロメタン	48	5					32	4	3		2					2		
ベンゼン	48	5					32	4	3		2					2		
塩化物イオン	0																	
全リン	21	14		1												6		
全窒素	21	14		1												6		
溶存酸素	7			1					6									
電気伝導度	81						68	9			4							
温度	6															6		
アンモニア性窒素	1			1														
亜硝酸性窒素	38			1			23	8	6									
硝酸性窒素	38			1			23	8	6									
水分量・乾燥減量	13				6					3	4							
強熱残留物	9				6					3								
PCB	46	7			6		11	8	6	3	4					1		
農薬	104		104															
陰イオン界面活性剤又はLAS	6								6									
鉱物油定性及び同定	0																	
1,2-ジクロロエタン	48	5					32	4	3		2					2		
1,1-ジクロロエチレン	50	5					34	4	3		2					2		
1,2-ジクロロエチレン	40						34	4			2							
シス-1,2-ジクロロエチレン	50	5					34	4	3		2					2		
トランス-1,2-ジクロロエチレン	40						34	4			2							
1,1,2-トリクロロエタン	48	5					32	4	3		2					2		
クロロエチレン	40						34	4			2							
1,3-ジクロロプロペン	17	5					1	4	3		2					2		
シス-1,3-ジクロロプロペン	11							4	3		2					2		
トランス-1,3-ジクロロプロペン	11							4	3		2					2		
1,4-ジオキサン	25	5					11	4	3							2		
チウラム	31	7	3				1	8	6		4					2		
シマジン	29	7		1			1	8	6		4					2		
チオベンカルブ	28	7					1	8	6		4					2		
ビスフェノールA	0																	
ノニルフェノール類	6								6									
オクチルフェノール類	0																	
o,p'-DDT	0																	
カチオン・アニオン	0																	
アルカリ度	0																	
クロロフィルa	0																	
溶解性有機炭素又は全有機炭素	0																	
プランクトン・その他	0																	
魚の状態等	0																	
溶存態全アルミニウム	0																	
濁度	0																	
有機リン化合物	12	7									4							
亜硝酸性窒素及び硝酸性窒素	37						23	8	6							1		
アンモニア、アンモニア化合物、 亜硝酸化合物及び硝酸化合物	14	14																
無機性リン	1			1														
エストロン	0																	
4-ヒドロキシ安息香酸メチル	0																	
ベンチルフェノール類	0																	
その他	0																	
合計	2,070	430	107	0	13	54	0	766	217	180	27	100	36	0	0	138	2	0

表2-7-10 ゴルフ場排水などの農業調査検査項目

時期	殺虫剤		殺菌剤		除草剤他		その他	
	夏期	秋期	夏期	秋期	夏期	秋期	夏期	秋期
	イミダクロプリド	イミダクロプリド	アゾキシストロビン	アゾキシストロビン	カフェンストロール	S-メトクロール		
	クロチアニジン	クロチアニジン	アミスルプロム	アミスルプロム	キノクラミン(ACN)	カフェンストロール		
	チオジカルブ	クロラントラニプロール	アメトトラジン	アメトトラジン	クミルロン	クミルロン		
	テブフェノジド	テブフェノジド	イソプロチオラン	イソプロチオラン	シクロスルファミロン	ピラノスルフロリエチル		
	フルベンジアミド	フルベンジアミド	シプロコナゾール	イプロジオン				
			シメコナゾール	シプロコナゾール				
			チウラム	シメコナゾール				
			チフルザミド	チウラム				
			テトラコナゾール	テトラコナゾール				
			テブコナゾール	テブコナゾール				
			フルキサピロキサド	フルキサピロキサド				
			フルトラニル	フルジオキシニル				
			プロピコナゾール	フルトラニル				
			ベンフルフェン	プロピコナゾール				
			ボスカリド	ヘキサコナゾール				
			メタラキシル	ペンシクロン				
				ベンチオピラド				
				メタラキシル				
合計	5	5	16	19	7	4	0	0
			夏期: 28 項目 秋期: 28 項目		年間のべ: 56 項目			

表2-7-11 工場事業場排水の大腸菌群検査の結果

	検体数	基準超過検体数	基準超過検体の割合(%)
工場事業場排水	13	0	0

## 8 試験検査の信頼性確保業務等〔管理課〕

## (1) 食品検査等における信頼性確保

食品衛生法に係る検査等の信頼性を確保するため、「京都市衛生環境研究所食品検査等業務管理要綱」を作成し、この要綱に基づき信頼性確保部門としてGLP委員会を設置し、試験検査業務の内部点検及び外部精度管理調査等を実施している。

## ア GLP委員会について

「京都市衛生環境研究所GLP委員会設置要領」に基づき、委員の選出及び委員会を開催。

## (ア) 委員の構成

- ・ 委員長（衛生環境研究所長）
- ・ 信頼性確保部門責任者（管理課企画調整係長）
- ・ 検査部門責任者（管理課長）
- ・ 試験品採取・搬送区分責任者（医療衛生推進室医療衛生企画課食品安全担当課長）
- ・ 理化学的検査区分責任者（食品化学部門担当課長）
- ・ 微生物学的検査区分責任者（微生物部門担当課長）
- ・ 動物を用いる検査区分責任者（食品化学部門担当課長）
- ・ その他の委員（委員長が指名する者）

## (イ) 委員会の開催

内部点検及び外部精度管理調査等GLPの取組について、令和5年度の実施結果及び令和6年度の実施計画（案）を報告（開催日 令和6年6月28日）。

## イ 内部点検について

「内部点検実施手順書」に基づき、食品試験検査を担当する食品化学部門（実施日 令和6年10月15日・16日）及び微生物部門（実施日 令和6年12月9日～11日）並びに試験品採取・搬送担当の医療衛生センター（実施日 令和6年11月11日）の内部点検を実施。

## ウ 外部精度管理調査について

例年、試験検査データの信頼性を確保するため、一般財団法人食品薬品安全センター秦野研究所が実施する外部精度管理調査に参加している。

令和6年度は、理化学調査5項目、微生物学調査6項目、食品表示に関する調査1項目に参加。

表2-8-1 食品衛生検査外部精度管理調査参加項目

分類	試験項目	種別	対象試料の形態	結果
理化学調査	重金属検査(カドミウム)	定量	玄米粉	適
	食品添加物検査 保存料(ソルビン酸)	定量	果実ペースト	適
	残留農薬検査(6種農薬中の3種)	定性/定量	ほうれんそうペースト	適
	残留動物用医薬品検査 (スルファジミジン)	定量	豚肉(もも)ペースト	適
	食品添加物検査 着色料(酸性タール色素中の許可色素)	定性	果実ペースト	適
微生物学調査	E.coli 検査	定性	ハンバーグ	適
	一般細菌数測定検査	定量	ゼラチン基材	適
	腸内細菌科菌群検査	定性	ハンバーグ	適
	黄色ブドウ球菌検査	定性/定量	マッシュポテト	適
	サルモネラ属菌検査	定性	液卵	適
	大腸菌群検査	定性	ハンバーグ	適
食品表示に関する調査	特定原材料検査(卵)	定量	イチゴジャム	適

## (2) 病原体等検査における信頼性確保

平成 28 年度から、感染症の予防及び感染症の患者に対する医療に関する法律に基づいて、感染症の患者の検体又は当該感染症の病原体の検査を行う施設として、「京都市衛生環境研究所病原体等検査業務管理要領」を作成し、病原体等検査の信頼性確保のため内部監査等を実施。

## ア 内部監査について

「内部監査実施手順書」に基づき、病原体等検査を担当する微生物部門の内部監査を実施（実施日 令和 7 年 2 月 13 日）。

## イ 外部精度管理について

試験検査データの信頼性を確保するため、令和 6 年度は 3 項目の外部精度管理調査事業に参加。

表2-8-2 病原体検査等外部精度管理調査参加項目

試験項目	検体	結果	実施主体
腸管出血性大腸菌の遺伝子検査	腸管出血性大腸菌等の抽出 DNA	適	厚生労働省、国立感染症研究所
麻しん・風しんウイルスの遺伝子解析	麻しん・風しんウイルス RNA	一部不適 <sup>※</sup>	厚生労働省、国立感染症研究所
コレラ菌の同定検査	コレラ菌	適	厚生労働省、国立感染症研究所

※風しんウイルスの塩基配列に不一致があり、検査部門へ原因究明と改善を求め、是正処置報告書により確認を行った。

## (3) 輸出食肉検査における信頼性確保

令和 2 年度から、「京都市衛生環境研究所輸出食肉検査業務管理要領」に基づき、輸出食肉検査の信頼性確保のため内部点検等を実施。

## ア 内部点検について

「内部点検実施手順書」に基づき、輸出食肉検査を担当する食肉検査部門の内部点検を実施（実施日 令和 6 年 9 月 13 日）。

## イ 内部精度管理について

食肉検査部門で行った内部精度管理の結果評価を実施。評価基準として、試料に用いた標準菌株の性状が検査結果で得られることとし、以下の実施項目について、評価基準を満たしていた。

- ・対米輸出用サルモネラ検査及び STEC 検査のスクリーニング検査
- ・対米輸出用サルモネラ検査
- ・対米輸出用 STEC 検査

## ウ 外部精度管理について

試験検査データの信頼性を確保するため、令和 6 年度は 2 項目の外部精度管理調査事業に参加。

表2-8-3 輸出食肉検査外部精度管理調査参加項目

試験項目	種別	検体	結果	実施主体
サルモネラ属菌検査	定性	液卵	適	(一財)食品薬品安全センター秦野研究所
対米食肉輸出認定施設 STEC検査	定性	牛肉	適	国立医薬品食品衛生研究所

(4) 地域保健総合推進事業に係る近畿ブロック健康危機管理事業（健康危機模擬訓練）

健康危機事象が広域にわたって発生した場合における各地方衛生研究所の対応について確認することを目的として、地方衛生研究所全国協議会近畿支部が「近畿ブロック健康危機管理事業（健康危機模擬訓練）」を実施している。令和6年度においても参加し、健康危機管理委員会を立ち上げ、事象についての検討、原因物質の推定・究明を行い、所内体制や対応などを検討した。

(5) 京都市衛生環境研究所動物実験委員会の開催

令和6年度の動物実験について下記のとおり委員会を開催し、計画及び結果の審議と承認を行った。

ア 計画の承認（令和6年2月22日開催委員会：計画に問題なく、すべて承認された）

・食品化学部門 「マウスを用いた麻痺性貝毒試験」及び「マウスを用いたふぐ毒試験」

イ 結果の承認（令和7年2月27日開催委員会：全計画が予定通り実施されており、すべて承認された）